

2015 10 15



10月15日 ホンダは**大型二輪ゴールドウイング**などのブレーキに不具合があるとして、国土交通省にリコールを届け出ました。

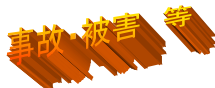
対象となるのは『**ゴールドウイング**、**ゴールドウイングF6B**の2車種で、2011年9月24日～2015年9月22日に製造された計**3019**台。
対象は、前後輪のブレーキが連動する「**デュアルコンバインドブレーキシステム**」を持つモデルのようです。



制動時に前輪から後輪へ制動力を伝えるセカンドマスタシリンダの構造が不適切なため、ブレーキホースから溶け出した亜鉛化合物とブレーキ液中の成分が反応して生成された化合物によって、ブレーキの液圧を解除するための油路がつまることがあるようです。そのため、後輪ブレーキが引きずり、そのまま走行を続けると、後輪ブレーキが過熱して、**火災**に至るおそれがあるとのことです！。



改善措置として、全車両、セカンドマスタシリンダを対策品に交換する。また、ブレーキ配管を清掃し、リヤマスタシリンダを新品に交換するそうです。



不具合は**3**件発生、事故、人的被害は無いとのこと。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

